

4月	単元名	1 グラフや表を使って調べよう (6時間)	
	目標	身の回りの事象について、目的に応じて資料を折れ線グラフを用いて表したり、その特徴や傾向を読み取ったりして、統計的な見方をのぼす。	
	目 標	時	・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
	○折れ線グラフの読み方を理解する。	5	・東京の気温の変わり方を分かりやすく表すには、どんなグラフにしたらよいか考える。 ※東京の気温の折れ線グラフを読ませ、「折れ線グラフ」の特徴について考えさせる。
	○折れ線の傾きと事象の変化の度合いの関係を理解する。		・折れ線グラフを見て、変化の度合いを調べる。
	○折れ線グラフをかき、特徴や傾向を読み取ることができる。		・折れ線の傾きと変化の度合いの関係をまとめる。
	○波線の意味や、折れ線グラフの表し方や読み方の工夫について理解する。		・1年間の気温の変化を折れ線グラフに表し、気付いたことを話し合う。
	○棒グラフと折れ線グラフを重ね合わせたグラフの読み方を理解し、グラフの特徴や傾向を読み取ることができる。		・縦軸の目盛りの間隔を大きくするために表し方を考える。
			・目盛りにかき入れた波線の意味や中間値を推測の仕方を知る。
			・縦軸の目盛りのとり方が異なる折れ線グラフを比べる。
			・左右の縦軸が何を表しているのか、グラフの読み取りをし、話し合う。
	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	1	◆身の回りの事象をグラフに表す活動。 ・「しあげのもんだい」に取り組む。
	(関)折れ線グラフを用いて表すことのよさや有用性に気づき、生活や学習に生かそうとしている。		
	(思)折れ線グラフであらわされた資料の特徴を考えたり傾向をよみ取ったりしている。		
	(技)資料を折れ線グラフに表したり、それをよんだりしている。		
	(知)折れ線グラフの特徴を理解すると共に、グラフの読み方を理解している。		
4月	単元名	2 角の大きさの表わし方を考えよう (10時間)	
	目標	角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、角の大きさについての感覚を身につけられるようにする。	
	目 標	時	・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
	○半直線を回転させると、様々な角の大きさができることを理解する。	8	・折り込みの2枚の円盤を組み合わせて様々な角をつくり、大きさがどう変わるか調べる。
	○分度器の観察を通して、角度の単位「度」を知る。		・角の大きさを、直角を単位にして表す。
	○分度器を使って角度を測定することができる。		・分度器の目盛りの構造を調べる。
			・「度(°)」と、1直角=90° の関係を知る。
			・分度器を使った角度の測定の仕方を知り、様々な角度を測定する。
			※90°などを基準にして、見当をつけてから角度を測定させるようにする。
	○180°より大きい角度の測定の仕方と、対頂角の性質を理解する。		・三角定規のそれぞれの角度を知る。
			・180°より大きい角度の測定の仕方を考える。
			・様々な大きさの角をかいて、その角度を測定する活動に取り組む。
			・2直線が交わってできる向かい合った角の大きさを調べる。

	<p>○分度器を使って角をかくことができる。</p> <p>○分度器を使って三角形をかくことができる。</p> <p>○三角定規の角を組み合わせてできた様々な大きさの角度を見て、その角度のつくり方を解釈し、他者に伝えることができる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・分度器を使った角のかき方を知り様々な大きさの角をかく。 ・決められた2つの角と1辺の大きさから、分度器を使って三角形をかく方法を考え、かき方をまとめる。 ・正三角形をコンパスでかいて、3つの角度を測定し、すべて等しいことを確かめる。 ◆三角定規の角を組み合わせて、様々な角度をつくる活動 ・図や式などを用いてつくり方を説明する。
	<p>○身の回りにある図形を角の大きさに着目してとらえる。</p> <p>○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・[やってみよう]に取り組む。 ・全円分度器や坂道分度器を作り、測定する。 ・「しあげのもんだい」に取り組む。
	<p>(関)角の大きさに着目して身の回りにある図形をとらえ、生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>(思)角の大きさの表し方について、既習の量の学習から類推して、単位の大きさのいくつか分と数値化して考えている。</p> <p>(技)分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な角の大きさをかいたりしている。</p> <p>(知)角の大きさを回転の大きさにとらえ、その単位と測定の意味を理解している。</p>		
5	単元名 3 わり算のしかたを考えよう (16時間(17時間))		
月	目標 2~3位数を1位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力をのばす。		
6	目 標	時	・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
月	○九九1回適用で商が何十や何百になるわり算(余りなし)の計算の仕方を理解し、その計算ができる。	2	◆立式し、その式になる理由を考える活動 ※数直線などを根拠に、演算決定させる。 ・ $80 \div 4$, $600 \div 3$ の計算の仕方を考える。
	○2位数 \div 1位数(余りなし)の筆算の仕方を理解し、計算ができる。	7	・問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・ $72 \div 3$ の計算の仕方を考える。 ・ $72 \div 3$ の筆算の仕方をまとめ、確かめをする。
	○2位数 \div 1位数(余りありで、各位ともわり切れない)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。		<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・$76 \div 3$の筆算の仕方を考える。 ・$76 \div 3$の答えの確かめをする。 ・$86 \div 4$, $62 \div 3$の筆算の仕方を考える。 ・3年で既習の$34 \div 7$を筆算で計算する。
	○2位数 \div 1位数(余りあり、十の位でわり切れる、九九1回適用)の筆算の仕方を理解し、計算ができる。		
	○3位数 \div 1位数=3位数(各位ともわり切れない、おおよび一の位でわり切れる)の筆算の仕方を理解し、計算ができる。		
	○3位数 \div 1位数=3位数(商に空位を含む、おおよび百の位や十の位でわり切れる)の筆算の仕方を理解し、計算ができる。		<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・$734 \div 5$の筆算の仕方を考えまとめる。 ・$734 \div 5$の答えの確かめをする。 ・$843 \div 4$, $619 \div 3$の筆算の仕方を考える。
	○3位数 \div 1位数=2位数(首位に商がたたない)の筆算の仕方を理解し、計算ができる。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・$256 \div 4$の筆算の仕方を考えまとめる。 ・$256 \div 4$の答えの確かめをする。
	○□倍を求める場合も、除法を用いればよいことを理解する。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・15mが3mの何倍かを求めるには、どんな計算をすればよいのかを数直線を基に考える。 ・「3mの□倍が15m」の関係をおさえて、$\times \square = 15$の式で確認する。

5月 6月	<p>○比較量を求めるには乗法を用いればよいことを理解する。</p> <p>○基準量を求める場合は、□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□を求められることを理解する。</p> <p>○2数の倍関係を用いると、基準量が分からなくても全体量を求められる場合があることを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基準量の何倍かを求めるには除法を用いればよいことをまとめる。 ・180cmの3倍にあたる大きさを求めるには、どんな計算をすればよいのか数直線を基に考える。 ・基準量の何倍かにあたる量を求めるには乗法を用いることをおさえ、数量の関係をまとめる。 ・数量の関係を数直線で考え、□の式に表す。 ・□にあてはまる数を求めるには、除法を用いるか数をあてはめて調べることをおさえる。 ・3個で240円のヨーグルトを12個買ったときの代金の求め方を考える。 ・単位が割り切れない場合も、何倍かを考えれば、代金が求められることをおさえる。 				
	○2位数÷1位数=2位数の除法の暗算と10、100の倍数(3位数)を1位数でわる除法の暗算の仕方を理解し、暗算ができる。	1 <ul style="list-style-type: none"> ・74÷2の暗算の仕方を考える。 ・740÷2の暗算の仕方を考える。 				
	○学習内容を適用して問題を解く。 ○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	2 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・「力をつけるもんだい」に取り組む。 ・「しあげのもんだい」に取り組む。 				
<p>(関)2～3位数÷1位数の除法計算について、九九1回適用の除法など基本的な計算を基にできることのよさに気づき、学習に生かそうとしている。</p> <p>(思)2～3位数÷1位数の筆算の仕方について、数の構成や既習の除法計算を基に考えている。</p> <p>(技)2～3位数÷1位数の除法の筆算の手順を基にして、確実に計算している。</p> <p>簡単な除法計算を暗算で計算している。</p> <p>(知)2～3位数÷1位数の除法の筆算の仕方や倍について理解している。</p>						
<p>【授業における評価計画例】 第2次 第3、4時</p> <p>○ 授業の概略 「72÷3の計算」</p> <p>*九九を超える範囲の2位数÷1位数(あまりなし)の場面でもこれまでと同じように除法が使えることを知り、自分なりの方法で答えを求める。</p> <p>*筆算での計算の仕方を知り、筆算のどの部分に生かされているか調べる。</p> <p>○ 評価の観点および評価規準</p> <table border="1" data-bbox="199 1370 1436 1451"> <tr> <td data-bbox="199 1370 798 1451"> <p><数学的な考え方>・72÷3(九九を超える範囲の2位数÷1位数)の式を立て、答えを自分なりに考えている。</p> <p>・自分たちで見付けた方法が、筆算とどのように関係しているか考えている。</p> </td> <td data-bbox="798 1370 1436 1451"></td> </tr> </table> <p>● 各学校の評価の基準になる児童の姿の例</p> <table border="1" data-bbox="199 1496 1436 1653"> <tr> <td data-bbox="199 1496 798 1653"> <p>A 十分満足と判断されるもの</p> <p>数の分割などの方法で答えを調べ、筆算でも十の位の数から分けていることや筆算で表れる数などについて説明することができる。</p> </td> <td data-bbox="798 1496 1436 1653"> <p>B おおむね満足できると判断されるもの</p> <p>具体操作等も含めた方法で答えを見付け、筆算でも十の位の数から分けていることなどをとらえていることができる。</p> </td> </tr> </table> <p>● 評価の方法と視点</p> <p>*自力解決時におけるノートやワークシートの記述 絵をかき・数を分割するなどどのような方法で答えを調べているか。</p> <p>*発表検討時における発言 自分なりの方法と、筆算とをどのように結び付けているか。</p>			<p><数学的な考え方>・72÷3(九九を超える範囲の2位数÷1位数)の式を立て、答えを自分なりに考えている。</p> <p>・自分たちで見付けた方法が、筆算とどのように関係しているか考えている。</p>		<p>A 十分満足と判断されるもの</p> <p>数の分割などの方法で答えを調べ、筆算でも十の位の数から分けていることや筆算で表れる数などについて説明することができる。</p>	<p>B おおむね満足できると判断されるもの</p> <p>具体操作等も含めた方法で答えを見付け、筆算でも十の位の数から分けていることなどをとらえていることができる。</p>
<p><数学的な考え方>・72÷3(九九を超える範囲の2位数÷1位数)の式を立て、答えを自分なりに考えている。</p> <p>・自分たちで見付けた方法が、筆算とどのように関係しているか考えている。</p>						
<p>A 十分満足と判断されるもの</p> <p>数の分割などの方法で答えを調べ、筆算でも十の位の数から分けていることや筆算で表れる数などについて説明することができる。</p>	<p>B おおむね満足できると判断されるもの</p> <p>具体操作等も含めた方法で答えを見付け、筆算でも十の位の数から分けていることなどをとらえていることができる。</p>					
6月	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="199 1836 459 1886">単元名</td> <td data-bbox="459 1836 1452 1886">4 四角形を調べよう (15時間(16時間))</td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 1886 1452 1957">目標</td> <td data-bbox="199 1886 1452 1957">直線の位置や四角形についての観察や構成などの活動を通して、直線の垂直や平行の関係、台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにする。</td> </tr> </table>		単元名	4 四角形を調べよう (15時間(16時間))	目標	直線の位置や四角形についての観察や構成などの活動を通して、直線の垂直や平行の関係、台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにする。
単元名	4 四角形を調べよう (15時間(16時間))					
目標	直線の位置や四角形についての観察や構成などの活動を通して、直線の垂直や平行の関係、台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにする。					

7月	<p>○2本の直線の交わり方を調べ、垂直の意味を知り、その弁別ができる。</p> <p>○三角定規を使って、垂直な直線をかくことができる。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・2本の直線の交わり方を調べる。 ・「垂直」の意味を知る。 ・垂直の意味を基に、2枚の三角定規を使った垂直な直線のひき方を考え、直線をひく。
	<p>○2本の直線の並び方を調べる活動を通して、平行の意味を知り、その弁別ができる。</p> <p>○平行な直線の間の距離は一定であることや、平行な直線は他の直線と等しい角度で交わることを理解する。</p> <p>○三角定規を使って、平行な直線をかくことができる。</p> <p>○方眼上の直線の垂直や平行の関係を理解する。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・直線の並び方を調べる。 ・「平行」の意味を知る。 ・紙を折って、平行をつくる。 ・平行な直線の幅を調べる。 ・平行な2直線間の距離は一定である事ことをまとめる。 ・平行な直線と、それと交わる直線でできる角度を調べ、他の直線と等しい角度で交わることをまとめる。 ・「算数のおはなし」を読み、平行の理解を深める。 ・2枚の三角定規を使った平行な直線のひき、平行な直線をひく。 ・方眼を手がかりにして、垂直や平行な直線の見付け方を考える。
	<p>○四角形を分類し、台形と平行四辺形の意味を理解する。</p> <p>○平行四辺形の性質を理解する。</p>	7	<p>◆図を見て四角形の仲間分けする活動</p> <p>※二つの形の関係に触れながら、対辺の平行の関係に着目させてとらえさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の性質をまとめる。
	<p>○平行四辺形をかくことができる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形のかき方を考える。 ・図形の意味や性質を用いて、平行四辺形をかく。
	<p>○ひし形の意味や性質を理解し、ひし形をかくことができる。</p> <p>○対角線の意味と、様々な四角形の対角線の特徴を理解する。</p> <p>○長方形や平行四辺形を対角線で分割してできる、2つの三角形は合同であることを知る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ひし形の意味を知り、性質をまとめる。 ・ひし形をかく。 ・様々な四角形の頂点を直線で結び、その特徴を調べる。 ・対角線の意味を知る。 ・様々な四角形の対角線の特徴をまとめる。 ・長方形や平行四辺形を1本の対角線で切り分けてできる、2つの三角形について調べる。 ・これらを組み合わせて、四角形をつくる。
	<p>○算数的活動を通して学習内容の理解を深め、興味を広げる。</p>	2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・「力をつけるもんだい」に取り組む。 <p>◆【やってみよう】平行四辺形を敷き詰める活動</p>
	<p>○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「しあげのもんだい」に取り組む。
<p>(関)身の回りから垂直な2直線や平行な2直線および、台形、平行四辺形、ひし形などを見付け、それらが使われる場面について考えようとしている。</p> <p>(思)辺の位置関係や構成要素を基に、各四角形の性質を見出し表現したり、各四角形の対角線の性質を統合的にとらえている。</p> <p>(技)2直線の垂直・平行および、台形、平行四辺形、ひし形をかいている。</p> <p>(知)2直線の垂直・平行および、台形、平行四辺形、ひし形の意味や性質について理解している。</p>			

授業における評価計画例】 第3次 第9時

○ 授業の概略

* 平行四辺形のかき方について考える。(底辺の長さや斜辺の長さ、その間の角度を提示する。)

* 向かい合った二組の辺が平行という性質を使った平行四辺形のかき方をまとめる。

○ 評価の観点および評価規準

<数学的な考え方、技能>向かい合った二組の辺が平行という性質を使って、平行四辺形のかき方を考えかいている。

● 各学校の評価の基準になる児童の姿の例

A 十分満足と判断されるもの

対辺どうしが平行になっている性質を用い、三角定規を正しく使って作図できる。

B おおむね満足できると判断されるもの

対辺どうしが平行になっている性質に気付き作図している。

● 評価の方法と視点

*自力解決時におけるノートやワークシートの記述

性質を用いて作図しているか。三角定規等を正しく用いて作図しているか。

*発表検討時における発言

平行四辺形の性質をとらえているか。

7月	単元名	そろばん (2時間)
	目標	そろばんの仕組みについての理解を深め、そろばんで整数や小数の加減計算ができるようにする。
	目 標	時 ・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
	○そろばんを用いた整数や小数の表し方を理解する。	2 ◆そろばんで様々な数を表す活動。 ・一億の位などの整数の位や小数の位の位置を知る。 ※位取り記数法に基づいて考えさせる。
	○そろばんを用いた小数の加減計算ができる。	・そろばんでの小数の加減計算の仕方を考え、たし算やひき算の運珠の仕方の理解を深める。
	(関)そろばんの仕組みについて、十進位取り記数法と関連づけてとらえようとしている。 (思)そろばんを用いた小数の加減計算の仕方を、十進位取り記数法の仕組みを基にして考えている。 (技)そろばんを用いて整数や小数の加減計算している。 (知)そろばんの仕組みや、そろばんを用いた整数や小数の加減計算の仕方を理解している。	
9月	単元名	5 1億より大きい数を調べよう (6時間)
	目標	億や兆以上の単位について知り十進位取り記数法についての理解を深め、数を用いる能力をのばす。
	目 標	時 ・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
	○一億以上の数の構成、読み方書き方、一億、十億、百億、千億の数の大きさ、命数法、記数法を理解する。	2 ◆日本や世界全体の人口の数の読み方を考える活動。 ・「一億」「十億」「百億」「千億」の意味を知る。 ・日本の人口や、原油輸入量を読む。 ・環境保全予算額の数の読み方を考える。 ・「一兆」「十兆」「百兆」「千兆」の意味を知る。 ・整数の位取りの仕組みをまとめる。 ・大きい数を読んだり、書いたりする。 ※4桁ずつ区切る方法に着目させ、大きな数をよんだりかいたりする方法を考えさせる。
	○一兆以上の数の構成、読み方、書き方や、一兆、十兆、百兆、千兆の数の大きさと命数法、記数法を理解する。	2 ・25億を10倍した数や1/10にした数を比べる。 ・「算数のおはなし」を読み、3桁ごとに区切る表し方があることに興味をもつ。 ・0から9までの数を使って、10桁の整数をつくる。 ・10個の数字で、どんな大きさの整数でも表せることをまとめる。
	○整数を10倍した数や1/10にした数の表し方を理解し、十進位取り記数法の仕組みを確かめる。	1 ・365×148の筆算を、既習の筆算を基に考える。 ・「積」について知る。 ・5400×320の簡便な筆算の仕方を考える。 ・「算数のおはなし」を読み、「和」「差」「商」について知る。
	○0から9までの数字で、どんな整数でも表せることを理解する。	1 ・「しあげのもんだい」に取り組む。 (2)
	(関)どのような大きい整数でも、十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法(万進法)によって表すことのできるよさに気付き、大きい数をとらえたり用いたりしようとしている。 (考)一億までの整数の仕組みや表し方を基に、億や兆の単位を用いた整数の仕組みについて類推し、十進位取り記数法について考えている。 (技)十進位取り記数法に基づいて、億や兆の単位を用いた整数をよんだり、3位数以上の整数の乗法を計算したりしている。 (知)億や兆の単位を知り、整数が十進位取り記数法についての理解している。	
9	単元名	6 わり算の筆算を考えよう (15時間(16時間))

月	目標 整数の除法の計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力をのばす。	
く	目 標	時
10		・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
月	○何十でわる計算の仕方を理解し、その計算ができる。	1
		・問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ◆ $60 \div 20$ の計算の仕方を考える活動。 ・ $90 \div 20$ の計算の仕方を考える。
	○2 位数 \div 2 位数(仮商修正なし)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	6
	○2 位数 \div 2 位数の筆算で、過大商をたてたときの仮商修正の仕方を理解し、その計算ができる。	
		・問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ※除数が何十の計算での見積もりを大切にする ・ $87 \div 21$ の筆算の仕方を考える。 ・21を20(切り捨て)とみて、商の見当をつける。 ・「算数のおはなし」を読み、数のまるめ方を知る。 ・ $87 \div 21$ の筆算の仕方をまとめ、検算する。 ・ $86 \div 23$ の筆算の仕方を考える。 ・23を20(切り捨て)とみて、商の見当をつける。 ・過大商の場合の仮商修正1回の仕方を理解する。 ・ $81 \div 12$ の筆算の仕方を考える。 ・過大商の場合の仮商修正2回の仕方を理解する。
	○2 位数 \div 2 位数の筆算で、過小商をたてたときの仮商修正の仕方を理解し、その計算ができる。	
	○除数の切り捨てや切り上げを選んで仮商をたてて計算することができる。	
	○3 位数 \div 2 位数=1 位数の仮商のたて方を理解し、計算ができる。	
		・ $78 \div 19$ の筆算の仕方を考える。 ・19を20(切り上げ)とみて、商の見当をつける。 ・過小商の場合の仮商修正の仕方を理解する。 ・ $87 \div 25$ の筆算の仕方を考える。 ・除数を切り捨てた(過大商)場合と、切り上げた(過小商)場合の筆算の仕方を比べる。 ・仮商をたてやすい除数の処理の仕方を考える。 ・ $153 \div 24$ の筆算の仕方を考える。
	○3位数 \div 2位数=2位数の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	3
	○3位数 \div 2位数=2位数の筆算について、除数の切り捨てや切り上げを選んで仮商をたてて計算することができる。	
	○商に0がたつ場合(商が何十)や、除数が3桁の場合の筆算の仕方を理解し、計算ができる。	
		・問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・ $345 \div 21$ の筆算の仕方を考え、まとめる。 ・ $476 \div 15$ の筆算の仕方を考える。 ・除数を切り捨てた(過大商)場合と、切り上げた(過小商)場合の筆算の仕方を比べる。 ・仮商をたてやすい除数の処理の仕方を考える。 ・ $941 \div 23$ 、 $960 \div 16$ の筆算の仕方を考える。 ・ $732 \div 216$ の筆算の仕方を考える。 ・216を200とみて、仮商をたてる。
	○除法の性質について理解する。	2
	○末尾に0のある数の除法の簡便な筆算の仕方を理解し、正しく余りを求めることができる。	
		・商が等しいわり算の式を見比べて考える。 ・ $150 \div 50 = 3$ と $15 \div 5 = 3$ 、 $30 \div 10 = 3$ の関係を調べて、除法の性質をまとめる。 ・ $2400 \div 500$ の筆算の仕方を考え、末尾に0のある数の除法の簡便な筆算の仕方をまとめる。 ・ $2700 \div 400$ の筆算の仕方と、末尾に0のある数の除法での余りの求め方を考える。
	○学習内容を適用して問題を解く。	3
	○わり算についての興味を広げる。	(4)
	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	
		・「力をつけるもんだい」に取り組む。 ・[やってみよう]世界のわり算の筆算を比べる。 ・「しあげのもんだい」に取り組む。
	(関)既習の基本的な計算を基にしてできることよさに気づき、学習に生かそうとしている。 (思)整数の除法の計算の仕方について、見積りや除法の性質、既習の除法計算を基に考えようとしている。 (技)整数の除法の筆算の手順を基にして、確実に計算している。 (知)整数の除法の筆算の仕方や除法について成り立つ性質について理解している。	

10 月	単元名	7 およその数の表し方を考えよう (8時間)	
	目標	概数について理解し、目的に応じて用いたり、四則計算の答えを見積ったりできるようにする。	
	目 標	時	・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
	○およその数にすることを通して、概数の意味について理解する。 ○四捨五入の意味と方法を理解する。 ○□の位までの概数にするときの表現や四捨五入の仕方を理解する。 ○「上から□桁の概数にする」ときの四捨五入の仕方を理解する。 ○四捨五入して概数にする前の数の範囲や、「以上」「未満」「以下」の意味を理解する。	5	・市の人口の、およその数の表し方について考える。 ・「がい数」の意味や、「約」を用いて表すことを知る。 ・「四捨五入」や「切り捨て」、「切り上げ」の意味を知り、その方法をまとめる。 ・全国の郵便ポストと郵便局の数を四捨五入して1万の位までの概数にする仕方を考える。 ・四捨五入してある位までの概数にする場合は、何の位に着目すればよいかをまとめる。 ・四捨五入して上から1桁までの概数にする場合は、何の位に着目すればよいかをまとめる。 ・四捨五入して概数にしたとき、約130になる整数の範囲をまとめる。 ・数の範囲を表す言葉「以上」「未満」「以下」の意味を知る。
	○目的に応じて、概数を用いた和や差の見積りの仕方を理解する。 ○概数を用いた積や商の見積りができる。	2	・3人の代金の見当のつけ方を考える。 ※目的に応じて概数にする方法を選ぶことを知らせる。 ◆ 630×39 の積を、見積もる方法を考える活動 ・乗法の場合、上から1桁の概数で見積もるとよいことを知る。 ◆ $38500 \div 39$ の商を、見積もる方法を考える活動 ・除法の場合も上から1桁の概数で見積もるとよいことを知る。
○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	1	・「しあげのもんだい」に取り組む。	
(関)概数のよさに気付き、生活や学習で概数や四則計算の見積りを用いようとしている。 (思)概数を用いる場合や方法、概算の仕方について、目的に応じて考えている。 (技)目的に応じた方法で、概数にしたり、四則計算を概数で見積もったりしている。 (知)概数の意味や概数にする方法、概算の仕方について理解している。			
10 月 11 月	単元名	8 計算のやくそくを調べよう (8時間(9時間))	
	目標	計算の順序に関わるきまりについて理解するとともに、四則に関して成り立つ性質について理解を深め、必要に応じて活用できるようにする。	
	目 標	時	・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
	○2つの式で表される場面を、()を用いて1つの式に表すことができ、その式の計算順序を理解する。 ○四則混合の式の計算順序を理解し、その計算ができる。 ○ドットの数の求め方を考え、1つの式に表すことができる。	4	・2段階構造の問題を1つの式に表す仕方を考える。 ・()のある式の計算順序をまとめ、計算する。 ※具体的な場面に照らしたり、答えを確認させたりしながら扱っていく。 ・加減と乗除の2段階構造の問題を1つの式に表し、その計算順序を考える。 ・乗除は加減よりも先に計算することをまとめる。 ・四則混合の3段階構造や()のある式の計算順序をまとめる。 ◆ドットの数を工夫して求め、式に表す活動

	<p>○分配法則を□や○などを使って一般的にまとめたり、それを用いて計算を簡単に行う工夫を考えたりすることを通して、分配法則についての理解を深める。</p> <p>・○交換法則、結合法則を□や○で一般的にまとめたり、それらを用いて計算を簡単に行う工夫を考えたりすることを通して、交換法則結合法則についての理解を深める。</p> <p>○乗数を10倍すると積も10倍になり、乗数と被乗数をそれぞれ10倍すると積は100倍になるという乗法の性質を理解する。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・合計の個数の求め方を考える。 ・$(5+3) \times 12$と$5 \times 12 + 3 \times 12$とを、等号でつなげられることを確かめる。 ・□や○などに数をあてはめ、式が成り立つことを確かめ、分配法則について一般的にまとめる。 ・分配法則を用い、工夫して計算する。 ・□や○などに数をあてはめ、式が成り立つことを確かめ、加法と乗法の交換、結合法則について一般的にまとめる。 ・加法についての交換、結合法則が、小数でも成り立つことを確かめる。 ・きまりを用いて、計算を工夫する。 ・$3 \times 6 = 18$の式を基にして、3×60や、30×60の答えの求め方を考える。 ・$3 \times 6 = 18$、$3 \times 60 = 180$、$30 \times 60 = 1800$を見比べる。 ・乗数を10倍すると積は10倍、乗数被乗数をそれぞれ10倍すると積は100倍、等の性質をまとめる。
	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・「しあげのもんだい」に取り組む。
	<p>(関) ()を用いて1つの式に表すと、数量の関係を簡潔に表すことができるなどのよさに気付き、学習に用いようとしている。</p> <p>(思) 四則に関して成り立つ性質を用いて計算を簡単に行う工夫を考えている。</p> <p>(技) 四則混合計算や()を用いた式の計算や、四則に関して成り立つ性質を用いて工夫して計算している。</p> <p>(知) 四則混合計算や()を用いた式の計算の順序を理解し、四則に関して成り立つ性質について理解している。</p>		
11月	単元名	9 広さを調べよう (10時間(11時間))	
	目標	面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができるようにするとともに、面積についての量感を豊かにする。	
	目 標	時	主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
	○面積の比べ方を様々な方法で考え、面積を比べることができる。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・陣取りゲームで得られた面積の比べ方を考える。 ・任意単位の考えで面積を比べる。
	○「平方センチメートル (cm ²)」を知り、面積の意味を理解する。		<ul style="list-style-type: none"> ・陣取りゲームで得られた面積の表し方を知る。 ・単位「平方センチメートル (cm²)」を知る。
	○長方形、正方形の面積を計算で求める方法を理解し、面積を求める公式をつくることことができる。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形、正方形の面積を求める方法を考える。 ・面積の意味を考え、公式をまとめる。 ※単位正方形のいくつかで表す事をおさえる。 ・公式を用いて長方形や正方形の面積を求めたり、辺の長さを求めたりする。 ・周りの長さが等しい長方形や正方形の面積を調べ、面積が異なる図形があることを知る。
	○公式を活用し長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考える。		◆長方形を組み合わせた図形の面積を、分割したり補ったりしながら様々な方法で求める活動

<p>○面積の単位「平方メートル (m²)」を知り、m²とcm²の関係を理解する。</p> <p>○辺の長さがmの場合も、長方形や正方形の面積の公式が適用できることを理解する。</p> <p>○面積の単位「アール(a)」「ヘクタール(ha)」「平方キロメートル (km²)」を知る。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの長さが同じ長方形正方形の面積を求める。 ・面積の単位「平方メートル (m²)」を知る。 ・1m²は何cm²になるか調べる。 ・教室には1m²の正方形が何こ並ぶか調べる。 ・辺の長さがmで表されていても、面積の公式が使えることを確認する。 <p>※1m²を作り、量感が豊かになるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1辺の長さを10mや100mにしたときの面積を考え、「アール(a)」「ヘクタール(ha)」「平方キロメートル (km²)」を知る。 ・1km²は何m²になるか調べる。
<p>○学習内容を適用して問題を解く。</p> <p>○面積についての興味を広げたり、感覚を豊かにしたりする。</p> <p>○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。</p>	2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・「力をつけるもんだい」に取り組む。 ◆【やってみよう】身の回りの様々な物の面積を、見当をつけてから調べる活動 ・「しあげのもんだい」に取り組む。
<p>(関) 面積を数値化して表すことのよさや、計算によって求められることの便利さに気付き、身の回りの面積を求めるなど生活に生かそうとしている。</p> <p>(思) 面積について、量や乗法の学習を基に、単位の何こ分で数値化して表すことや、辺の長さを用いて計算で求められることを考えている。</p> <p>(技) 長方形、正方形の面積を、公式を用いて求めている。</p> <p>(知) 面積について、単位と測定の意味や、長方形や正方形の面積は計算によって求められることやその求め方を理解している。</p>		

【授業における評価計画例】第2次 第5時

授業の概略

- *長方形を組み合わせた形の面積の求め方を考える。
- *答えを求める方法を式に表したり、友達の考えを式から読んだりする。
- *分割したり、変形したり（面積を変えずに形を変える・大きな長方形や正方形にしてから余分を引く）することによって長方形を組み合わせた形の面積が求められることを知る。評価の観点および評価規準

<数学的な考え方> 分割したり変形したりして、既習の長方形や正方形に直し、面積を求める方法を考えている。

● 各学校の評価の基準になる児童の姿の例

A 十分満足と判断されるもの

幾通りかの方法で考え、友達の方法を式から読める。また、方法を（分割・等積変形・大きくして余分を引く）分類できる。

B おおむね満足できると判断されるもの

自分なりの方法で解決でき、自分で行った方法が、分割・等積変形・大きくして余分を引く等のどれに属するかをとらえることができる。

● 評価の方法と視点

- *自力解決時におけるノートやワークシートの記述
どのような方法で答えを求め、式を立てているか。
- *発表検討時における発言
友達の考えを式からよんだり、考え方の共通性に気付いたりしているか。

11月12月	単元名	10 小数のしくみをしらべよう (13時間)	
	目標	小数の意味や表し方および加減法についての理解を深め、用いることができるようにする。	
	目 標	時	・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
<p>○1/10の単位に満たない大きさの表し方を理解し、1/100の位までの小数の書き方、読み方を知る。</p> <p>○1/1000の、までの小数の書き方、読み方を知り、小数の表し方について理解する。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・水筒に入る水のかさを調べ、0.1Lより小さいはしたの表し方を考える。 ・1/100の位までの小数の書き方読み方を知る。 ・新幹線の線路の幅の1.435mという数について、それぞれの位の数字が表す大きさを調べる。 ・1/1000の位まで小数のかき方とよみ方を知る。 	

	<p>○1、0.1、0.01、0.001の関係や、小数の構成について理解する。</p> <p>○小数の位取りの仕組みについて理解する。</p> <p>○小数の相対的な大きさや、大小関係について理解する。</p> <p>○小数の多様な見方をし、小数の豊かな感覚を身につける。</p> <p>○小数を10倍した数や1/10にした数について理解する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・1、0.1、0.01、0.001の関係を調べる。 ・2.345の数の構成を調べる。 ・2.345の位取りを調べ、「1/100の位（小数第二位）」「1/1000の位（小数第三位）」の意味をまとめる。 ※2.45の相対的な大きさや、様々な小数の大小を、面積図や数直線で考えさせる。 ◆小数を様々な数で表す活動 ・整数と小数の和とみたり、0.01の何こ分ととらえたりできることを知らせる。 ・0.74を10倍した数や1/10にした数を比べる。 ・「算数のおはなし」を読み、興味を広げる。
	<p>○1/100の位、1/1000の位の小数の加法の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。</p> <p>○1/100の位、1/1000の位の小数の減法の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・$1.75 + 2.64$の計算の仕方を考える。 ・小数の加法の筆算の場合も位をそろえて筆算すればよいことをまとめる。 ・桁数がそろっていない小数の筆算を考える。 ・$3.62 - 2.76$の計算の仕方を考える。 ・小数の減法の筆算の場合も位をそろえて筆算すればよいことをまとめる。 ・小数の桁数がそろっていない（減数の方が桁数が多い）場合の筆算の仕方を考える。
	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	2	・「しあげのもんだい」に取り組む。
	<p>(関) 1/10未満の小数の表し方や小数の加減法の計算の仕方について、十進位取り記数法のよさに気付き、整数や小数の仕組みと関連づけて考え、生活や学習に用いようとしている。</p> <p>(思) 整数や小数の仕組みに着目して、1/10未満の小数の表し方や仕組み、数の相対的な大きさや小数の加減法の計算の仕方をとらえている。</p> <p>(技) 1/100の位、1/1000の位を用いて小数を表し、その加減法の計算している。</p> <p>(知) 1/10未満の小数の表し方を知り、整数と同じ仕組みで表されていることを理解し、数の相対的な大きさや小数の加減法について理解している。</p>		
12月	単元名	11 どのように変わるか調べよう (5時間)	
	目標	伴って変わる2つの数量について、それらの関係を表を用いて調べ、式に表して、2つの数量の関係を明らかにする能力をのばす。	
	目 標	時	・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
	○伴って変わる2つの数量の関係（和が一定）を表に表したり、□や○を用いて式に表したりして、その関係をとらえることができる。	4	<ul style="list-style-type: none"> ◆㉗と㉘の時計盤の針が指す時刻の数の関係について調べる活動。 ※表に整理して順序良く調べたり、□を使った式に表して、一般的にとらえられるようにする。
	○伴って変わる2つの数量の関係（差が一定）を表に表したり、□や○を用いて式に表したりして、その関係をとらえることができる。		<ul style="list-style-type: none"> ・1辺が1cmの正三角形を組み合わせていくときの、正三角形の数と周りの長さの関係を調べる。 ・表に正三角形の数と周りの長さをまとめ、その関係を式に表す。 ・正三角形の数が、10個の時の周りの長さや、周りの長さが15cmの時の正三角形の数などを求める。
	○伴って変わる2つの数量の関係（商が一定）を表に表したり、□や○を用いて式に表したりして、その関係をとらえることができる。		<ul style="list-style-type: none"> ・1辺が1cmの正方形を階段状に並べたときの段の数と周りの長さの関係を調べる。 ・表に段の数と周りの長さをまとめ関係を式に表す。 ・段の数が50のときの周りの長さ、周りの長さが60cmの段の数をそれぞれ求める。
	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	1	・「しあげのもんだい」に取り組む。

- (関) 伴って変わる2つの数量の関係について、関係を表で調べることによさや、関係を□や○などを用いた式に簡潔に表せることによさに気付き、生活や学習に用いようとしている。
- (思) 伴って変わる2つの数量の関係を、表を用いて手際よく調べたり、□や○などを用いて式に表し、関係を簡潔にとらえている。
- (技) 伴って変わる2つの数量の関係を、表に表して変化の特徴をよみ取ったり、□や○などを用いた式に表したりしている。
- (知) 伴って変わる2つの数量の関係を、表を用いて調べる方法や、□や○などを用いた式の表し方について理解している。

【授業における評価計画例】 第1次 第1、2時

○ 授業の概略

*⑦と⑧の時計盤の針が指す時刻の数の関係について調べる。

*整理の方法を工夫し、和が一定の関係を見出す。

*式にまとめる。

○ 評価の観点および評価規準

<数学的な考え方、技能>・伴って変わる2つの数の変化を表などにまとめ、調べている。
・□や○を使って、関係を式に表している。

● 各学校の評価の基準になる児童の姿の例

A 十分満足と判断されるもの

表などを使って順番落ちなく調べ、□や○を使って式に表せる。

B おおむね満足できると判断されるもの

表などを使うと順番に落ちなく調べられることや、□や○で関係を表した式が理解できる。

● 評価の方法と視点

*自力解決時におけるノートやワークシートの記述

順番に落ちなく調べているか。

*発表検討時における発言

二つの数量の関係をどのようにとらえているか。

1	単元名	1 2 小数のかけ算とわり算を考えよう (15時間)	
月	目標	小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の意味や仕方について	
2		理解し、計算できるようにするとともに、小数の理解を深める。	
月	目 標	時	・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
	○小数×整数の計算の意味を理解し、その計算ができる。	6	◆立式し、その式になる理由を考える活動。 ※数直線などを使って演算決定させる。
	○1/10の位までの小数に1位数をかける筆算の仕方を理解し、計算できる。		・0.3×6の計算の仕方を考え、まとめる。
	○1/10の位までの小数に1位数や2位数をかける筆算(被乗数が純小数、積の末位が0になる場合等)を理解し計算できる。		・3.6×7の計算の仕方を考える。
	○1/100の位の小数に1位数をかける筆算の仕方を理解し計算できる。		・3.6×7の筆算の仕方を考えまとめる。
	○1/100の位の小数に1位数や2位数をかける筆算(被乗数が純小数、積の末位が0になる場合等)の仕方を理解し計算できる。		・0.2×4, 0.8×5, 7.5×4の筆算(被乗数が純小数、積の末位が0になる場合)の仕方を考える。
	○学習内容を適用して問題を解く。		・1.8×34の筆算の仕方を考え、まとめる。
			・1.36×7の計算の仕方を考える。
			・1.36×7の筆算の仕方を考え、まとめる。
			・0.25×3, 2.45×4の筆算(被乗数が純小数の場合や、積の末位が0になる場合)の仕方を考える。
			・3.26×43の筆算の仕方を考え、まとめる。
			・「力をつけるもんだい」に取り組む。

	<p>○小数÷整数の計算の意味を理解し、その計算ができる。</p> <p>○1/10の位までの小数を1位数でわる筆算を理解し計算できる。</p> <p>○1/10の位までの小数を1位数や2位数でわる筆算（商が純小数になる場合を含む）を理解し計算できる。</p> <p>○1/100の位の小数を1位数や2位数でわる筆算（商が純小数になる場合や、被除数が純小数の場合を含む）の仕方を理解し計算できる。</p> <p>○小数÷整数で余りを求める計算で、余りの大きさについて理解し、その計算ができる。</p> <p>○整数÷整数でわり進むときの筆算を理解し、その計算ができる。</p>	7	<p>◆立式し、その式になる理由や計算を考える活動。</p> <p>※既習の除法計算と関連付けて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3.6÷3の計算の仕方を考え、まとめる。 ・7.2÷3の筆算の仕方を考え、まとめる。 ・6.3÷7の筆算（商が純小数になる場合）の仕方を考える。 ・95.2÷28の筆算の仕方を考える。 ・9.48÷4の筆算の仕方を考える。 ・0.24÷6の筆算（商が純小数になる場合や、被除数が純小数の場合）の仕方を考える。 ・46.7÷3の筆算をして、商を1/10の位まで求める。 ・余りを考え、余りの小数点の位置についてまとめる。 ・46.7÷3の筆算の検算をする。 ・6÷4の筆算の仕方を考え、わり進むときは、被除数に0を補って計算を続けることをまとめる。 ・1.7÷5の筆算の仕方を考える。 			
	○小数÷整数でわり進みをするときの筆算の仕方を理解し、商を概数で表すことができる。		・13÷3の計算をして、上から2桁の概数にするには、何の位で四捨五入すればよいか考える。			
	○小数倍の意味について理解する。	1	・40m、50m、30mは、20mの何倍かを求め、何倍かを小数で表すことがあることをまとめる。			
	○学習内容を適用して問題を解く。 ○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	2	・「力をつけるもんだい」に取り組む。 ・「しあげのもんだい」に取り組む。			
	○問題を解決することで、演算決定する能力を伸ばす。	1	・問題文を読み、どのような式になるか考える。			
	<p>(関) 小数×整数、小数÷整数の計算の意味や計算の仕方を、既習の整数の乗法や除法の計算と関連付けてとらえようとしている。</p> <p>(思) 小数×整数、小数÷整数の計算の仕方を、既習の整数の乗法や除法の計算を基に考え、具体物や図、式を用いて説明している。</p> <p>(技) 小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算している。</p> <p>(知) 小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数の場合の計算の意味や仕方を理解している。</p>					
2	<table border="1"> <tr> <td>単元名</td> <td colspan="2">13 分数をくわしく調べよう (9時間(10時間))</td> </tr> </table>			単元名	13 分数をくわしく調べよう (9時間(10時間))	
単元名	13 分数をくわしく調べよう (9時間(10時間))					
月	<p>目標 分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法および減法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いることができるようにする。</p>					
	目 標	時	<p>・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動</p>			
	<p>○「真分数」、「仮分数」の意味を知る。</p> <p>○「帯分数」の意味を知る。</p> <p>○数直線を基にして、仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数になおす方法を理解する。</p>	4	<p>◆1/3mの2こ分、3こ分、5こ分の表し方を考える活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「真分数」、「仮分数」の意味を知る。 ・「帯分数」の意味を知る。 <p>※図や数直線を基に単位分数による仮分数、帯分数の構成を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数と同値の仮分数について調べる。 ・仮分数を帯分数になおす方法や帯分数を仮分数になおす方法を考える。 ・整数が単位分数の何個分にあたるか考える。 			

	○大きさが等しく表し方の異なる分数があることを理解する。	1	◆分母が違う分数で同じ大きさの分数を作る活動 ・線分図から、分母が違って、大きさが等しい分数があることをまとめる。 ・分子が同じとき、分母が大きい分数の方がおおきさが小さいことを知る。
	○同分母の分数の加減計算の意味について理解し、その計算ができる。 ○同分母の帯分数の加法計算の仕方を理解し、その計算ができる。 ○同分母の帯分数の減法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	3	・問題文を読んで、式を考える。 ・ $4/5+3/5$ の計算の仕方を考える。 ・同分母の真分数、仮分数の加減計算の仕方をまとめる。 ・1と $2/5+4/5$ の計算の仕方を考え、整数部分、分数部分どうしをたす方法と、仮分数になおす方法とがあることを知る。 ・2と $1/5-4/5$ の計算の仕方を考える。 ・帯分数の分数部分がひけないときは、分数部分を仮分数にする方法と、帯分数を仮分数になおして計算する方法があることをまとめる。
	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	1 (2)	・「しあげのmondai」に取り組む。
	<p>(関)1より大きい分数を仮分数や帯分数で表すことよき気づき、学習に用いようとしている。</p> <p>(思)単位分数の大きさに着目して、同分母の分数の加法および減法の計算の仕方を考えたり、同値分数について小数と異なる分数の特徴としてとらえたりしている。</p> <p>(技)1より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、同分母の分数の加法および減法の計算をしている。</p> <p>(知)分数の意味や表し方について理解を深めるとともに、同値分数に着目することや同分母の分数の加法および減法の意味や計算の仕方について理解している。</p>		
2	単元名	14 箱の形をしらべよう (9時間(10時間))	
月	目標 図形についての観察や構成などの活動を通して、直方体や立方体、平面上や空間のものの位置の表し方について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにする。		
3	目 標	時	・主な学習内容 ※指導上の工夫 ◆算数的活動
月	○身の回りの箱の形に関心を持ち、直方体、立方体の意味を理解する。 ○構成要素に着目して直方体、立方体の特徴、性質を理解する。 ○直方体、立方体の展開図をかくことができる。	4	・身の回りの箱を面の形を仲間分けし、特徴を調べる。 ・直方体・立方体の意味を知る。 ・直方体や立方体の面、辺、頂点についての特徴、性質を調べる。(用語「平面」を知る。) ・用語「展開図」を知る。 ◆立方体の展開図が何種類あるか考える活動。
	○直方体の面と面の垂直、平行の関係を理解する。 ○直方体の辺と辺の垂直、平行の関係や、面と辺の垂直の関係を理解する。 ○直方体、立方体の見取図をかくことができる。	3	・直方体や立方体がなぜ積み重ねられるか考える。 ・直方体の面と面の交わり方、並び方を調べる。 ・直方体の辺と辺の交わり方、並び方を調べる。 ・直方体の面と辺の交わり方を調べる。 ◆身の回りから、面や辺の垂直・平行を見つける活動。 ・用語「見取図」を知り、そのかき方を考える。 ※辺どうしの関係を利用して、見取図をかかせる。
	○平面上や空間にある点の位置の表し方について理解する。	1	・平面上の点の位置の表し方を知る。 ・空間にある点の位置の表し方を考えまとめる。
	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	1 (2)	・「しあげのmondai」に取り組む。

- | |
|---|
| <p>(関) 直方体、立方体の特徴が生活に多く生かされていることに気づき、身の回りにあるそれらの形をしたものについて関心をもち、調べようとしている。</p> <p>(思) 立体図形の構成要素に着目して、直方体、立方体の特徴や性質を考えたり、直線や平面の垂直や平行の関係や、ものの位置の表し方をとらえたりしている。</p> <p>(技) 直方体、立方体の展開図や見取図をかいたり、ものの位置を表したりしている。</p> <p>(知) 直方体、立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係、平面上や空間にあるものの位置の表し方を理解している。</p> |
|---|